

(様式2)

## 京丹後市都市計画マスタープランの概要

### 1 都市計画マスタープランの目標

京丹後市都市計画マスタープランは、第2次京丹後市総合計画の都市機能構想を進めるための計画と位置づけており、土地利用計画と都市施設の整備により、人口減少の克服、定住や交流の促進、更には市民総活躍社会の基盤を創ることを目的としています

### 2 目標の実現に向けた4つの視点

第2次京丹後市総合計画及び「京丹後市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策理念に沿った4つの視点をもって、課題の実現に向けた取組みを進めます

#### (1) しごとの基盤づくり

若い世代のしごとや生活への夢が叶えられる「まち」を目指します

#### (2) 交流の基盤づくり

人と人が交流し、笑顔があふれる「まち」を目指します

#### (3) 暮らしの基盤づくり

子育て世代やお年寄りなど、世代を問わずだれもが包摂され、いきいきと快適に暮らせる「まち」を目指します

#### (4) 安全・安心の基盤づくり

だれもが安全で安心して生活できる「まち」を目指します

### 3 将来都市構造のあり方

山陰近畿自動車道や国道312号など、本市の南北軸となる主要な道路とその沿道、また、駅周辺を基本として、総合計画の都市機能構想による「軸（広域連携軸、地域連携軸）・ゾーン（都市活動ゾーン、保全・共生ゾーン）・拠点（都市拠点、地域拠点）」を設定し、土地利用計画と都市基盤整備を進め、公共交通ネットワークの充実による、多極ネットワーク型のまちづくりを進めます

### 4 まちづくりの基本方針

#### (1) 軸の形成

広域幹線道路や鉄道などの整備効果を活かし、人と経済・文化の交流を促進させる

- ・山陰近畿自動車道による広域道路ネットワークの強化
- ・地域内道路ネットワークの強化
- ・公共交通の利便性の向上

#### (2) ゾーンの形成

職住近接の利便性の高い都市環境を築くとともに、人と水とみどりの共生する環境を実現させる

- ・用途地域などの指定による地域活性化
- ・魅力的な都市景観の形成と自然環境の保全や共生

- ・公園や緑地等の整備による生活環境の向上
- ・うるおいのある住環境の整備
- ・安全安心なまちに向けた防災基盤や都市施設の整備による都市機能の向上

(3) 拠点の形成

広域連携・交流の拠点を整備するとともに、市民生活を支える地域振興機能を充実させる

- ・国道 312 号と国道 482 号沿いにおける商業・交流機能の向上
- ・駅と市街地における観光・交流機能の向上

**5 施行予定期日について**

平成 28 年 7 月 1 日から施行します。